

事務事業名	地域振興事務事業 三国			事業コード	02010150101
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8900	記入者名	刀根 進矢
事業対象	地域自治区内市民				
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	住民と行政の協働によるまちづくりの推進		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	大会企画、運営全般
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市総務部まちづくり推進課所管補助金交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

地域自治区の区域に係ることや各総合支所が掌握する事務について、地域住民の意見を反映させ、住民と行政の協働のまちづくりを推進する。

事業の目的・事業の概要等

◆地域振興事務事業  
各自治区地域協議会に関する経費や地域振興費

○委託料

・スポーツ大会委託料（三国自治区小学生スポーツ大会） 800千円

○負担金、補助及び交付金

・地域自治区体育祭補助金  
三国町民体育祭補助金 1,920千円

・三国節保存伝承事業費補助金 3,250千円

すぐにできる改善提案	それぞれの事業について、対象経費と対象外経費の精査および経費削減の方法を検討する必要があると考えます。	
目標年度 平成24 年度		
取組状況	それぞれの事業について、事業主体との協議を重ね、対象経費と対象外経費の精査に取り組み、経費削減を図りました。	
中長期的に取り組むべき改善提案	いずれの事業も、地域市民が一体となってコミュニティの形成、醸成に取り組むために、継続して実施することが望ましい事業です。制度等を見直し、市の事業として平等性のある体制に改善していく必要があると考えます。	
目標年度 平成30 年度		
取組状況	一部事業を委託事業から制度補助事業に転換するなど、市の事業として平等性のある体制への改善を継続中です。	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	C
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費					
コスト	事業費		平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円				
			委託費	800 千円	千円	千円	千円				
			需用費	96 千円	千円	千円	千円				
			役務費	千円	千円	千円	千円				
			その他	4,235 千円	千円	千円	千円				
			事業費合計	5,131 千円	千円	千円	千円				
	人件費		正職員	1.90 人	13,507 千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	1.90 人	13,507 千円	人	千円	人	千円	人	千円
			総事業費	18,638 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
地方債			千円	千円	千円	千円					
その他			千円	千円	千円	千円					
一般財源			18,638 千円	千円	千円	千円					
財源合計			18,638 千円	千円	千円	千円					

【事業のコスト】

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断理由	長年にわたり地域に根差した事業として、今後も地域市民が一体となってコミュニティの形成、醸成に取り組むために、継続して実施することが望ましいと考えます。現状は旧三国町体制で実施されているので、市の事業として平等性のある体制に改善していく必要があると考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	—	年度を目安
判断理由	いずれの事業も、地域のニーズが非常に高いことから、通年通り継続していくことが望ましいと考えます。ただし、今後も事業主体への移管も視野に入れながら事業を進めていきます。			
コスト投入の方向性	事業費の縮小を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断理由	交付基準などを精査し、明確にしたうえで、事業費の適正化を図る必要があると考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断理由	最低限の人員で事務業務を行っているため、現状維持に努めることが望ましいと考えます。			
すぐにできる改善提案	それぞれの事業について、対象経費と対象外経費の精査および経費削減の方法を検討する必要があると考えます。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	いずれの事業も、地域市民が一体となってコミュニティの形成、醸成に取り組むために、継続して実施することが望ましい事業です。制度等を見直し、市の事業として平等性のある体制に改善していく必要があると考えます。			
目標年度 平成30 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	
成果	事業参加者増加率（H22=100%）	%	目標値 110 達成率 105	105 達成率 100	100 達成率	達成率	
			実績値 100 90.91	101 96.19	- ---		
活動	三国節保存伝承事業参加者	人	目標値 3330 達成率 3000	3000 達成率 2600	2600 達成率	達成率	
			実績値 3900 117.12	3780 126	2820 108.46		
活動	三国町民体育祭参加者	人	目標値 4000 達成率 4000	4000 達成率 4000	4000 達成率	4000 達成率	
			実績値 0 0	3000 75	2896 72.4	0 0	
活動	三国町地区対抗小学生スポーツ大会参加者	人	目標値 700 達成率 700	700 達成率 700	700 達成率	700 達成率	
			実績値 590 84.29	589 84.14	687 98.14	659 94.14	
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				

事務事業名	松くい虫防除事業 三国		事業コード	06020200101	
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	齊藤 紀之
事業対象	旧三国町の越前加賀国定公園区域内の海岸区域内、自然公園区域内、及び公共の利益に資する等地域の重要な松林に対して実施します。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	林業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	被害調査事業、地上薬剤散布、特別伐倒駆除、樹幹注入
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	松くい虫被害総合対策事業、松くい虫被害特別対策事業			

【事業の概要】

国定公園内の景観を構成し、潮害や風害を防ぐなど市民の生活環境に重要な役割を果たしている松林を松くい虫被害から守るため、適期に適正な防除や駆除を行うことにより松くい虫被害の蔓延防止に努め、松林の保全対策を図る。

被害調査、地上薬剤散布、特別伐倒駆除及び樹幹注入を実施する。

○需用費	40千円
・消耗品費	
○委託料	22,260千円
・松くい虫被害総合対策事業委託料	16,810千円
・被害調査（県単 県1/2）	一式
・地上散布（県単 県3/4）	9.5ha
・地上散布（市単）	10.0ha
・特別伐倒駆除（全期 市単）	一式
・特別伐倒駆除（秋期 県単 県3/4）	190m3
・樹幹注入調査（市単）	一式
・樹幹注入（秋期 国庫 国1/2 県1/4）	2,247本
・松くい虫被害特別対策事業委託料	5,344千円
・樹幹注入調査（市単）	一式
・樹幹注入（県単 県1/2）	1,753本
・工事積算システム保守点検委託料	106千円
○使用料及び賃借料	129千円
・設計積算システム使用料	
○原材料費	149千円
・抵抗性クロマツ苗木代等	

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	22,260千円	18,353千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	40千円	36千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	277千円	167千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	22,577千円	18,556千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.50人	3,555千円	0.37人	2,514千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.50人	3,554千円	0.37人	2,514千円	人	千円	人	千円
総事業費		26,131千円	21,070千円	千円	千円	千円	千円			
事業費	特定財源	国県支出金	10,712千円	10,972千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	千円	千円	千円	千円				
		その他	千円	千円	千円	千円				
	一般財源	15,419千円	10,098千円	千円	千円					
	財源合計	26,131千円	21,070千円	千円	千円					

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度				
成果	地上散布	ha	目標値	19.5	達成率	19.5	達成率	18.8	達成率	22.5	達成率
			実績値	19.5	100	19.5	100	18.8	22.5		
成果	樹幹注入	m3	目標値	500	達成率	522	達成率	452	達成率	500	達成率
			実績値	493	98.6	522	100	452	500		
活動	樹幹注入施工本数	本	目標値	700	達成率	641	達成率	858	達成率	561	達成率
			実績値	696	99.43	641	100	858	561		
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐに行ける改善提案	被害の撲滅と予防を図り、また、他の事業と連携をとりながら越前海岸国定公園の維持につとめていきます。		
目標年度	未設定	年度	
取組状況	防除事業（地上散布・特別伐倒駆除・樹幹注入）の実施により、雄鳥地区の松林の被害は、面積比率にしますとここ数年かなり低水準となっています。過去の被害木の伐採跡地には、植栽等を実施し緑の再生を図っています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	松くい虫被害につきましては、雄鳥地区は近年防除の推進により減少傾向にありますが、地上散布・樹幹注入を継続実施し被害拡大を防止します。また西地区につきましては、引き続き抵抗性松等の植栽を推進し、樹種転換を図ります。		
目標年度	平成28	年度	
取組状況	地上散布・樹幹注入の継続。特別伐倒駆除の徹底。抵抗性クロマツ等の植栽。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	松くい虫の被害がなくなる限り、継続して実施していきます。また、広域的な予防の観点からも継続していくことが望ましいと言えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	県と綿密に協議しながら、今後とも事業を実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	県の補助事業を有効に活用し、事業を実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	他の業務と兼任しながらの取組は厳しいです。			
すぐに行ける改善提案	被害の撲滅と予防を図り、また、他の事業（松林健全化、美しい森林景観・県単小規模）と連携をとりながら、越前海岸国定公園の維持に努めていきます。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	松くい虫の被害対策については、今後も継続して実施していくことが、松林の保全対策につながると考えます。			
目標年度	--	年度		

【所属長評価】

事務事業名	松林健全化促進事業 三国			事業コード	06020200106
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	齊藤 紀之
事業対象	旧三国町の越前加賀海岸国定公園区域内の海岸区域内、自然公園区域内、及び公共の利益に資する等地域の重要な松林に対して実施します。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	林業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	抵抗性クロマツの植栽等
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	松くい虫被害総合対策事業			

【事業の概要】

松くい虫被害により森林資源の減少した海岸松林等に、地域住民等による抵抗性マツの植栽等を実施し、健全な松林の維持再生を図る。

○委託料 480千円  
・松林健全化促進事業委託料

【事業名】 松林健全化促進事業  
【補助率等】 3/4（負担割合 国 1/2・県 1/4）  
【植栽場所】 三国町安島～崎  
【植栽数量】 160本（抵抗性育種植栽松 H=80cm）  
【事業費】 480千円（うち県補助金 360千円）

【事業の目的・事業の概要等】

すぐに行ける改善提案	国・県の助成を受け事業を実施していくもので抵抗性松の植栽と併せ衰弱木、被害木、枯れ枝の処分が主な事業であり、今後の森林整備の下地となるもので、継続していきます。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	海岸防風林・防潮林、また以前のような緑の美しい景観の維持をすることを目的し、本年度は、安島地係3ヶ所に抵抗性クロマツの苗木の植栽を実施しました。
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も継続的に抵抗性クロマツの植栽を実施していき、松くい虫に強い松林に転換していく予定です。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	継続した抵抗性松の植栽

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B	
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費					
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	480	千円	千円	千円	千円	千円		
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	480	千円	千円	千円	千円	千円			
		人件費	正職員	0.07	人	498	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.07	人	498	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	978	千円	千円	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	国県支出金	360	千円	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
			地方債	千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円					
一般財源		618	千円	千円	千円	千円					
財源合計		978	千円	千円	千円	千円					

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	松くい虫の被害拡大を防ぐためにも抵抗性松の植栽は有効と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	補助事業であり対象者が限られているため。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	国県の補助が3/4と高く、今後とも継続していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	最低の人員で兼任で行っています。			
すぐに行ける改善提案	国・県の助成を受け実施して行く事業であり、抵抗性松の植栽と併せ衰弱木、被害木、枯れ枝の処分が主な事業であり、今後の森林整備の下地となるため今後とも継続していきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	5年以上経過した箇所について調査し、適切な維持管理に取り組んでいきます。			
目標年度 -- 年度				

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	抵抗性松植栽事業費	千円	目標値 480	達成率 1000	達成率 500	達成率 470
		実績値 480	100	1000	100	500
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			

【事業の成果】

【所属長評価】

【担当者評価】

【前年度改善案に対する取組状況】



事務事業名	水産業事務事業 三国			事業コード	06030105101		
所管部署	地域振興課（三国支所）		電話	82-8904		記入者名	北出 泰章
事業対象	福井県漁港漁場協会						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	水産業の振興			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	漁港、漁場、漁村及び水産都市の総合整備を推進するための活動を行う福井県漁港漁場協会に協賛することにより、坂井市漁村地域の活性化を図る。						
	漁村漁場施設の整備強化、漁村経済の発展推進のため、福井県漁港漁場協会に負担金を支出する。						
事業の目的・事業の概要等	負担金125千円 ・福井県漁港漁場協会負担金 漁港分基本割 @10,000円×3漁港 30千円 漁場分事業割 22,125,000円×0.3/100 66千円 栽培分均等割 市町 28千円 県単分事業割 500,000円×1/2×0.3/100 1千円						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	福井県漁港漁場協会負担金のため市単独での改善は難しい。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	福井県漁港漁場協会を通じて、市内漁場の合理的利用の推進を図る活動を行いました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	県漁港漁場協会の負担金(法令外)ですが、漁港漁場整備には必要であるので継続します。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	事業内容について適正に把握していきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業総務費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	125千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	125千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.03人	213千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.03人	213千円	人	千円	人	千円	人	千円
		総事業費	338千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円			
地方債			千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円				
一般財源		338千円	千円	千円	千円					
財源合計		338千円	千円	千円	千円					

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	漁港漁場整備には必要であるので継続します。				
実施主体の方向性	現状どおり実施します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由					
コスト投入の方向性	現状を維持します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	算出方法が明示されており、妥当と考えます。				
人員投入の方向性	現状を維持します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状を維持していきます。				
すぐにできる改善提案	県漁港漁場協会の負担金(法令外)ですが、漁港漁場整備には必要であるので継続します。				
目標年度 -- 年度					
中長期的に取り組むべき改善提案	制度が変わらない限り継続していきます。				
目標年度 -- 年度					

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果 負担金	千円	目標値	130	達成率 130	達成率 276	達成率 133
		実績値	125	96.15	130	100
活動 事業割負担率	%	目標値	0.3	達成率 0.3	達成率 0.3	達成率 0.3
		実績値	0.3	100	0.3	100
活動 漁港数（基本割）	港	目標値	3	達成率 3	達成率 3	達成率 3
		実績値	3	100	3	100
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				

【事業の成果】

事務事業名	漁港施設管理事業 三国		事業コード	06030200101	
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	北出 泰章
事業対象	漁業従事者（雄島漁業協同組合）				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	水産業の振興		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	漁港漁場整備法			
根拠例規	有	坂井市漁港管理条例			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

施設の安全管理と有効活用及び漁港施設内の市有地確保利用により、漁業者の作業効率の向上と生産性の拡大を目指し、また関係施設等の環境整備により漁業活動の安全と施設等の保全を図る。

市が管理している第1種漁港3港について、出入港時の安全を確保するため、漁港標識灯の補修を行う。

- 修繕料 42千円
  - ・第1種漁港3港（安島、梶、崎）
- 工事請負費 500千円
  - ・県単漁港修築工事費（漁港標識灯補修工事）3漁港（安島・崎・梶）
  - 【補助率】 県 1/2

【事業の目的・事業の概要等】

すぐにできる改善提案	市内に第1種漁港が3港あり、地元漁船はもとより、緊急避難港としての役割を担っているため今後も整備が必要です。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	3漁港の標識等の補修工事を実施しました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	漁港施設の安全性を調査するとともに、安全確保に努めていきます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	3漁港の安全性について調査し、改良および機能強化について図ります。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	農林水産業費		項	水産業費		目	水産業振興費		
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円				
		委託費	千円	千円	千円	千円				
		需用費	42千円	千円	千円	千円				
		役務費	千円	千円	千円	千円				
		その他	500千円	1,314千円	千円	千円				
		事業費合計	542千円	1,314千円	千円	千円				
	人件費	正職員	0.23人	1,635千円	0.04人	272千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.23人	1,635千円	0.04人	272千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	2,177千円		1,586千円		千円	千円	千円	千円
		特定財源	250千円		千円		千円	千円	千円	千円
		国県支出金	千円		千円		千円	千円	千円	千円
		使用料・手数料	千円		千円		千円	千円	千円	千円
分担金・負担金		千円		千円		千円	千円	千円	千円	
地方債		千円		千円		千円	千円	千円	千円	
その他		千円		千円		千円	千円	千円	千円	
一般財源	1,927千円		1,586千円		千円	千円	千円	千円		
財源合計	2,177千円		1,586千円		千円	千円	千円	千円		

事業の方向性	このまま継続します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	漁港施設の安全を図るため必要であると考えます。				
実施主体の方向性	現状どおり実施します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	市が実施すべき事業です。				
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。		目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	県道拡幅工事に伴う、漁港改修工事を実施します。				
人員投入の方向性	人員の増加を検討します。		目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	かつては水産係として選任の職員がいましたが、現在は他の業務との兼任で負担が重く、漁港の適切な維持管理のために、専任の職員が一人以上必要と考えます。特に来年度は7,200千円の工事を予定しており、今以上の負担増が予想されています。				
すぐにできる改善提案	市内に第1種漁港が3港あり、地元漁船はもとより、緊急避難港としての役割を担っているため今後も整備が必要です。				
目標年度 -- 年度					
中長期的に取り組むべき改善提案	漁港施設の安全性を調査するとともに、安全確保に努めていきます。				
目標年度 平成28 年度					

【事業の成果】	成果	事故発生率	指標名	単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
			目標値	件	0	達成率	0	達成率	0	達成率	0	達成率	
	活動	漁港利用者数	目標値	151	達成率	180	達成率	180	達成率	184	達成率		
			実績値	151	100	151	83.89	180		184			
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率		
			実績値		達成率		達成率		達成率		達成率		
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率		
			実績値		達成率		達成率		達成率		達成率		
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率		
			実績値		達成率		達成率		達成率		達成率		
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率		
			実績値		達成率		達成率		達成率		達成率		

事務事業名	浅海漁場改善事業 三国			事業コード	06030200106
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	北出 泰章
事業対象	坂井市内の漁業者				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	水産業の振興		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	冬季の波浪等により沿岸域に漂着した漂着ゴミにより漁場環境が悪化し、さらに水産資源への影響を及ぼすことを防ぎ、もって漁場環境保全と安定した水産物水揚げに寄与します。				
	冬季の波浪等により沿岸域に漂着した漂着ゴミにより漁場環境が悪化し、さらに水産資源への影響を及ぼすことを防ぎ、もって漁場環境保全と安定した水産物水揚げに寄与します。				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	台風や荒天等により漂着した大型ゴミ（流木など）を除去して、安心して漁場を活用して、今後の水産業（特に浅海漁業）の振興につなげます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	24年度は対象となる事業がありませんでした。		
中長期的に取り組むべき改善提案	他の事業と連携しての対応について検討していきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	県と協議しながら今後の方向性について見極めていきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債			千円	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計		千円	千円	千円	千円	千円	千円			

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	漁港の漂着ごみは予測不可能のため、万が一に備えるという意味で現状どおり継続していきたくと考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
すぐに行える改善提案	不測事態にそなえ、県と協議しながら対応を図ります。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	冬季の時化による不足の事態に備えて、今後も継続して実施していきます。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	処分量	目標値	1	達成率	1	達成率
		実績値	0	0	0	0
活動	実施回数	目標値	1	達成率	1	達成率
		実績値	0	0	0	0
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				

事務事業名	小規模漁場保全事業 三国			事業コード	06030200111
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	北出 泰章
事業対象	三国港機船底曳網漁業協同組合（組合員25名、船数12隻）				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	水産業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	海底耕耘
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	福井県の主要な水産ブランド「越前がに」「甘エビ」「アカガレイ」の生息環境となる漁場の積極的な保全・創造を図るため、海底面を耕耘し活性化することにより、水産資源の持続的利用、安定供給を確保する。				
	市が三国港機船底曳網漁業協同組合に委託し、底曳網漁船によりアマエビ、アカガレイの生息域である三国第1漁場（1,610ha）、三国第2漁場（1,570ha）の海底面を耕うんする。 ○委託料 29,500千円 ・小規模漁場保全事業委託料 ・海底耕うん（対象生物 アマエビ・アカガレイ） 負担割合：国 50%・県 25%・市 15%・組合 10% ○使用料及び賃借料 221千円 ・検査船備船料				

【事業の概要】

すぐにできる改善提案	アマエビ漁場は昭和63年より、アカガレイ漁場は平成12年より継続して事業を行っていることにより、その事業効果は漁獲量にも反映されているので、今後も国、県とも連携を取りながら継続していきます。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	平成24年度以降の長期計画後の漁場保全について、県水産課および漁協と協議を行い今後の方向性を模索しました。	
中長期的に取り組むべき改善提案	当該事業は、三国沖のみならず越前沖、小浜沖等の県内の広域な漁場に対して行なわれる事業であるため、今後の事業展開については福井県水産課とさらに協議したい。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	長期計画後の漁場保全について、県水産課および漁協と協議を行い今後の方向性について検討していきます。	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費					
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	29,500	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	221	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	29,720	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		人件費	正職員	0.14	人 995	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00	人	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.14	人 995	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		30,715	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	22,125	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	3,300	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源		5,290	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計			30,715	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	ホッコクアカエビとアカガレイの安定した漁獲量を確保するために、今後とも必要と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	国県の補助が75%にあたり、今後とも継続していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員で事業にあたります。			
すぐにできる改善提案	アマエビ漁場は昭和63年より、アカガレイ漁場は平成12年より継続して事業を行っていることにより、その事業効果は漁獲量にも反映されているので、今後も国、県とも連携を取りながら継続していきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	県水産課および漁協と協議して、長期計画のもとに取り組んでいきます。			
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	漁場回復面積達率	%	目標値	33	達成率	100	達成率	91	達成率	78	達成率
			実績値	32	96.97	100	100	91	78		
成果	漁場回復面積	km2	目標値	33	達成率	244	達成率	224	達成率	191	達成率
			実績値	32	96.97	244	100	224	191		
活動	漁獲量	t	目標値	405	達成率	405	達成率	385	達成率	367	達成率
			実績値	465	114.81	405	100	388	341		
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】



事務事業名	水産業振興事務事業 三国			事業コード	06030205101		
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	北出 泰章		
事業対象	三国港機船底曳網漁業協同組合、三国港漁業協同組合および雄島漁業協同組合の組合員						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	水産業の振興			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有	農林水産課所管補助金等交付要綱					
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	原材料の著しい上昇等により影響を受けた漁業者の経営安定化に寄与することを目的とします。						
	水産業燃油高騰対策等緊急経営支援資金利子補給事業費補助や水産業経営安定緊急対策資金利子補給事業費補助を行うことにより漁業者経営の安定に寄与します。						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	水産業の振興のために継続した取り組みが必要です。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	予算要求どおりの事業実施ができました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	県信連や関係者と連絡を密にし、適正な事業実施に向けて見直しを図っていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	経済情勢に鑑み、関係者と協議しながら検討していきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	888 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	888 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		1,101 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		1,101 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計		1,101 千円	千円	千円	千円	千円	千円			

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	漁業者の経営安定を図るため今後とも必要と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事業の趣旨から現体制が適当と考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	漁業者の経営安定を図るために必要と考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員で事業にあたります。			
すぐに行える改善提案	水産業燃油高騰対策等緊急経営資金および水産業経営安定緊急対策資金に対する利子補給ですが、他の事業とあわせて水産業の振興を図っていきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	経済情勢に鑑み、関係機関と協議しながらの継続が必要と考えます。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	件	目標値	12	達成率 12	達成率 12	達成率 12
		実績値	11	91.67	11	91.67
成果	件	目標値	12	達成率 12	達成率 12	達成率 12
		実績値	7	58.33	7	58.33
活動	千円	目標値	889	達成率 1315	達成率 1,709	達成率 1,775
		実績値	857	96.4	1315	100
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				

事務事業名	水産業経営安定事業 三国			事業コード	06030205101
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	吉江 辰史郎
事業対象	三国港機船曳網漁業協同組合、三国港漁業協同組合および雄島漁業協同組合の組合員				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	水産業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	農林水産課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

【前年度改善案に対する取組状況】

【利子補給】 漁業施設整備等の資金借入れに対し利子補給を行なうことにより、漁業経営の改善を推進し経営の安定化を図ります。  
【漁獲共済】 漁獲共済の掛金の一部助成を行うことにより漁獲共済加入を促進し、不漁災害時においても漁業経営の安定を図ることを目的とします。

★漁業近代化資金利子補給事業補助金  
漁船の建造・改築、漁船修理、漁具及び漁具倉庫、船揚施設の改良、造成又は所得に必要な資金（福井県信用漁業協同組合連合会に借入れ申込書と償還計画書を提出し、連合会で審査決定された資金）の借入れ金に対し、福井県信用漁業協同組合を通じて補助を行います。  
★漁獲共済加入助成事業費補助金  
共済加入契約割合が80%以上の加入者の掛金に対して、掛金の10%以内で補助を行います。

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐできる改善提案	漁業者のニーズを的確に把握し、実績に近い予算要求をしていきたい。		
目標年度	未設定	年度	
取組状況	県信連と連絡を密にし、正確な数値の把握に努めます。		
中長期的に取り組むべき改善提案	【利子補給】意欲と能力を持って漁業を営む者に対し、漁業経営の展開を図るのに必要な資金融通支援策を実施しているので、今後は金利情勢の変化、国、県、他市町村の動向に合わせて、利子補給率の見直しが必要になると考えられます。 【漁獲共済】国、県の水産政策の一環としての災害対策、経営安定対策に準じて継続したい。		
目標年度	未設定	年度	
取組状況	経済情勢や利用状況を鑑み、関係者と協議しながら検討していきます。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	2,158 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	2,158 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		2,371 千円		千円		千円		千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		2,371 千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計		2,371 千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	漁業従事者が、安定した生活を図るために今後も必要であると考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事業内容から現状どおりがふさわしいと考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	極端に経済情勢が変化しない限り、現状どおり実施します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員で事業にあたります。			
すぐできる改善提案	【利子補給】貸付制度の見直しを行うとともに、漁船漁具の整備を図り漁業振興につなげます。 【漁獲共済】加入率が80%加入することを目標に推進します。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	漁業経営の安定化を図るため、継続しての支援が必要と考えます。			
目標年度	--	年度		

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度				
成果	利子補給利用件数	目標値	20	達成率	20	達成率	18	達成率		
		実績値	18	90	20	100	20	100	20	---
成果	漁業共済加入者数	目標値	12	達成率	12	達成率	12	達成率		
		実績値	12	100	12	100	7	58.33	6	---
活動	利子補給額	目標値	1892	達成率	2448	達成率	2466	達成率	2560	達成率
		実績値	1538	81.29	2448	100	2466	100	2295	---
活動	坂井市漁獲共済加入助成事業補助金	目標値	651	達成率	847	達成率	847	達成率	693	達成率
		実績値	620	95.24	847	100	847	100	693	---
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								

【事業の概要】

【担当者評価】

【所属長評価】

【事業の成果】

事務事業名	漁業振興資金融資事業 三国			事業コード	06030205101
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	吉江 辰史郎
事業対象	三国港機船底曳網漁業協同組合、三国港漁業協同組合および雄島漁業協同組合				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	水産業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	漁業経営基盤の強化を図るため、坂井市が中小企業経営基盤強化及び事業活性化のため制度化している、坂井市中小企業者等振興資金融資事業に準じた制度を、漁業協同組合に対しても制度化し、経営基盤の強化を図る。				
	市は福井県信用漁業協同組合連合会（県信連）に資金を預託し、県信連は預託を受けた金額にその5倍以上の自己資金を加えた額を漁業協同組合に対して融資する。 資金：自己資金 融資期間：1年以内 預託金額の5倍協調 融資限度額：120,000千円				
事業の目的・事業の概要等					

すぐにできる改善提案	初年度であり、今後の利用状況を踏まえて関係者等と協議していく必要があると思います。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	予算どおり県信連へ貸付を行い、これに対して漁業へ融資を行いました。	
中長期的に取り組むべき改善提案	事業効果や経済効果を踏まえて見直していく必要はあると考えます。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	利用状況や経済情勢を鑑み、また、他の事業とのバランスを考えて検討していきます。	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	20,000 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	20,000 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.04 人	284 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.04 人	284 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		20,284 千円		千円		千円		千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円			
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		20,000 千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源		284 千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計		20,284 千円		千円		千円		千円		

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	漁業協同組合の経営基盤の強化および安定のために有効と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事業趣旨から見ても現体制がふさわしいと考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	利用実績もあり、現状のまま進めるべきと考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事業執行のために必要と考えます。			
すぐにできる改善提案	初年度の事業であるため、今後の動向を見ていきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	継続して事業を実施していく必要があると考えます。			
目標年度 -- 年度				

事業の成果	成果	利用件数	単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
					目標値	10	達成率		達成率		達成率	
	実績値	10	100									
	活動	利子補給額	千円	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
					目標値	453	達成率		達成率		達成率	
		実績値	245	54.08								
		目標値		達成率		達成率		達成率				
		実績値				達成率		達成率				
		実績値				達成率		達成率				
	実績値				達成率		達成率					
	実績値				達成率		達成率					

事務事業名	制度融資利子補給事業 三国			事業コード	06030205101
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	吉江 辰史郎
事業対象	三国港機船底曳網漁業協同組合、三国港漁業協同組合および雄島漁業協同組合				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	水産業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	漁業振興資金融資事業により、融資を受けた漁業協同組合に対し、その償還利子の一部を利子補給することにより、漁業経営基盤の強化を図る。				
	1年間分の償還利子の一部（1%の利子相当額）の補給 H24年度補給対象期間（H24年4月～12月間）に支払った利子				

【事業の概要】

すぐに行える改善提案	初年度であり、今後の利用状況を踏まえて関係者等と協議していく必要があると思います。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	事業実績に応じた利子補給を行いました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	社会経済の動向および関係団体の意見を踏まえ、状況に応じて見直しを図っていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	関係機関と協議しながら、今後の事業展開について検討していきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費					
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		その他	245 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		事業費合計	245 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		人件費	正職員	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	458 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円			
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源		458 千円	千円	千円	千円	千円					
財源合計		458 千円	千円	千円	千円	千円					

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	漁業協同組合の経営基盤強化、安定を図るために有効と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事業の特性から、現在のままでよいと考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	関係機関と協議しながら継続していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事務処理としては特別なものはないと判断します。			
すぐに行える改善提案	利用実績を見て判断していきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	融資の状況や、経済情勢に鑑み、その時代に応じた見直しを図っていきます。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	利用件数	目標値	10	達成率		達成率
		実績値	10	100		
活動	利子補給額	目標値	453	達成率		達成率
		実績値	245	54.08		
		目標値		達成率		達成率
		実績値		達成率		達成率
		目標値		達成率		達成率
		実績値		達成率		達成率
		目標値		達成率		達成率
		実績値		達成率		達成率

事務事業名	栽培漁業自立支援事業 三国			事業コード	06030210106
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	北出 泰章
事業対象	市内にある漁業協同組合及び漁業者が組織する団体				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	水産業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	その他	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	栽培漁業を推進することにより、沿岸域及び浅海域の主要な漁業資源の回復を図ることと併せ、資源管理型漁業を推進することにより資源の持続的な活用を目指し、天然マダイ、天然ヒラメ、アワビ等の漁獲量シェアの確保が可能な体制を作ることにより、中核的漁業者の育成及び漁業後継者の確保を図ります。				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>三国港漁業協同組合</li> <li>種苗放流事業を自立して継続実施するための新たな体制を整備することを目的に、放流経費の負担、漁獲の実態把握について検討します。併せてこれまでの放流事業の効果を維持するため、天然資源への添加を目的に種苗の中間育成放流を実施し事業の自立を図ります。</li> <li>種苗放流</li> <li>雄鳥漁業協同組合</li> <li>稚貝放流事業を行うことにより、資源の維持及び回復が図られ、今後の漁獲量及び漁業収入の増加が期待できます。稚貝放流事業</li> </ul>				

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	2,002 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	2,002 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.23 人	1,635 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.23 人	1,635 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		3,637 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		3,637 千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計		3,637 千円	千円	千円	千円	千円	千円			

成果	指標名	単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
放流達成率		%	目標値	67	達成率	34	達成率	100	達成率	67	達成率
			実績値	67	100	34	100	100	67		
放流数（アワビ）		個	目標値	42000	達成率	51000	達成率	51000	達成率	51000	達成率
			実績値	42000	100	51000	100	51000	51000		
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐに行ける改善提案	坂井市ならではの優良な漁業資源を確保し、漁業従事者の安定した生活を図ることが重要であると考えます。		
目標年度	未設定	年度	
取組状況	ヒラメ、マダイ、アワビの放流事業を実施しました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	漁獲量の推移を見守り、効果について検証していきます。		
目標年度	未設定	年度	
取組状況	水産物の安定した供給を図り、漁業後継者の間接的育成につなげていきます。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	漁業資源の確保のために必要な事業と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	漁業従事者の安定した生活確保のために、今後とも必要と考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	他業務の担当者の協力が必要であり、これ以上課の人員が減ると事業の継続が困難となります。			
すぐに行ける改善提案	坂井市ならではの、優良な漁業資源を確保し、漁業従事者の安定した生活を図ることが重要であると考えます。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	水産物の安定した供給を図り、漁業後継者の間接的育成につなげていきます。			
目標年度	--	年度		

【事業の成果】

【所属長評価】

【前年度改善案に対する取組状況】

事務事業名	越前がにブランド化事業 三国			事業コード	06030210116		
所管部署	地域振興課（三国支所）		電話	82-8904		記入者名	北出 泰章
事業対象	三国港機船底曳網漁業協同組合の組合員、水産業、観光産業に携わる者						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	水産業の振興			事業種別	補助金事業（事業）	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	坂井市の重要な水産ブランドである「越前ガニ」の高付加価値化の取り組みをすることにより水産振興を行います。また、それによる地域経済活性も期待します。						
	坂井市三国港で水揚げされたズワイガニについて、「越前ガニ」タグを取り付けて他港のカニとの差別化をすることにより価格安定を図ります。						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	三国港に揚がる「越前ガニ」は、漁場が近く沖泊することなく日帰りでセリにかけられる。その新鮮さをアピールすることにより事業効果は更に上がることから、広報活動等と組み合わせ事業をすすめることが必要と考えられます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	「三国温泉かに祭」により、観光、商工、水産振興発展に取り組みました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	事業開始から既に10年以上経過し、ブランド化が定着し、継続していくべき事業と考えますが、助成のあり方について検討していくことも必要と考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	自立について関係者と協議していきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	972 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	972 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		1,185 千円		千円		千円		千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債			千円	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源			1,185 千円		千円		千円		千円	
財源合計			1,185 千円		千円		千円		千円	

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	坂井市の貴重な水産資源である越前ガニのブランド化により、付加価値を高めることができるこの事業は有効と考えます				
実施主体の方向性	現状どおり実施します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	数量の把握等を考えると現体制で望むのがふさわしいと考えます。				
コスト投入の方向性	現状を維持します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	ブランド化に重要な事業と考えます。				
人員投入の方向性	現状を維持します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員で事業にあたります。				
すぐにできる改善提案	平成10年度から実施している事業であり、平成24年度までの期間設定で越前ガニの表示（タグ）をするものでありますが、定着してきた段階で検討する必要があると考えます。				
目標年度 平成26 年度					
中長期的に取り組むべき改善提案	継続が必要と考えます。				
目標年度 -- 年度					

成果	指標名	単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	漁業従事者数	人	目標値	75	達成率	75	達成率	75	達成率	75	達成率
			実績値	75	100	75	100	75		75	
成果	越前がに水揚げ	千円	目標値	400000	達成率	382984	達成率	382984	達成率	340331	達成率
			実績値	400700	100.18	382984	100	382984		340331	
活動	かにタグ作成数	個	目標値	100000	達成率	120000	達成率	120000	達成率	120000	達成率
			実績値	100000	100	120000	100	120000		120000	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	三国港内夜間安全確保事業 三国			事業コード	06030210126
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	北出 泰章
事業対象	三国港機船底曳網漁業協同組合の組合員、三国港を航行する船舶及び観光客				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	水産業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	福井港内にある三国港地区内における船舶の安全航行と、漁業者及び観光客等の転落事故等を防止するため、三国港機船底曳網漁業協同組合が三国港内に設置してある投光機の電気料を補助します。				
	漁業者、観光客及び歩行者の港内への転落事故を防止します。				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	漁業者はもとより、一般市民の安全（転落防止）にも寄与するものであるため、継続します。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	電気料が過大になっていないかチェックしています。	
中長期的に取り組むべき改善提案	船舶の安全航行、漁業者及び観光客の転落防止を目的としており、一定の照度と節電を配慮した灯具の設置を検討していく必要があると考えます。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	ハードの機能が失われた時に検討課題として提案します。	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	720 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	720 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		933 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		933 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計		933 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	三国港内の盗難予防や転落防止のために必要な事業と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	他に補填する機関が無いため、継続していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	盗難予防や安全確保のために必要と考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員で事業にあたります。			
すぐにできる改善提案	漁業者はもとより、一般市民の安全（転落防止）にも寄与するものであるため、必要と考えます。。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も継続して取り組む必要があると考えます。。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	船舶数	目標値	13	達成率 13	達成率 13	達成率 13
		実績値	13	100	13	100
活動	船舶数	目標値	13	達成率 13	達成率 13	達成率 13
		実績値	13	100	13	100
活動	転落事故件数	目標値	0	達成率 0	達成率 0	達成率 0
		実績値	0	---	0	0
活動	補助金額	目標値	720	達成率 720	達成率 720	達成率 720
		実績値	720	100	720	100
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				









事務事業名	三国港網元おかみ会・海女さん・甘えびまつり事業 三国			事業コード	06030210156
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	北出 泰章
事業対象	三国港網本おかみ会・海女さん・甘えびまつり実行委員会				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	水産業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	その他	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】	<p>小型の甘えび等低利用水産物の価値を高め、市内外にPRするとともに、産地の信頼性及び高付加価値化による販売の優位性を確保するために実施する事業に要する経費について支援し、水産振興の推進を図ることを目的として交付します。</p> <p>5月12日、13日に三国魚市場において「三国港網本おかみ会・海女さん・甘えびまつり」を実施することにより、坂井市水産物の安全性、高付加価値化による販売の優位性を高めることが図れました。</p>
	<p>事業の目的・事業の概要等</p>

すぐに行ける改善提案	来場されたお客様に安全、安心、新鮮な三国産の漁獲物をよりアピールでき、かつ、予算を抑えられる企画を実行委員会と協働して実行していきます。
目標年度 平成25 年度	
取組状況	二日間に渡り甘えびを中心とした販売等に取り組み、海産物を広くPRすることができました。
中長期的に取り組むべき改善提案	この事業において知っていただいた三国の漁獲物について、消費につながる企画を実行していきます。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	他のイベントとのコラボや観光事業との連携も考慮に入れ、水産物のPRの仕方について検討していきます。

【前年度改善案に対する取組状況】	<p>【事業の成果】事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）</p>	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	<p>【サービス内容の見直し】成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？</p>	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	<p>【他事業との統合】類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？</p>	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
【担当者評価】	<p>【市民のニーズ】社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？</p>	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	<p>【市が実施する妥当性】市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）</p>	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	<p>【受益の公平性】特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？</p>	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【事業の効率性】	<p>【事務の効率化】事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？</p>	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	<p>【民間活力の導入】事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？</p>	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	<p>【歳入増加策】受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？</p>	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費				
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			その他	987 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	987 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.11 人	782 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.11 人	782 千円	人	千円	人	千円	人	千円
総事業費		1,769 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円			
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円			
		その他	千円	千円	千円	千円	千円			
		一般財源	1,769 千円	千円	千円	千円	千円			
		財源合計	1,769 千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	開催日を1日に減らし、規模を縮小して継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	事業費の縮小を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	2年目以降補助の縮小に伴い事業規模を縮小して開催します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	2年目以降の人員確保が厳しくなっています。			
すぐに行ける改善提案	事業規模を縮小し、内容を充実させた開催に対する助成を行います。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	開催のあり方、内容、時期等を検討しながら継続が必要と考えます。			
目標年度 -- 年度				

成果	指標名	単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
参加団体数		団体	目標値	10	達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値	10	100		---		---		---
来場客数		人	目標値	3000	達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値	5000	166.67						
メニュー数		個	目標値	14	達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値	14	100		---		---		---
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	環境・生態系保全対策事業 三国			事業コード	06030215101		
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	北出 泰章		
事業対象	藻場の環境・生態系保全を目的とする団体。						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	水産業の振興		事業種別	補助金事業（事業）		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	漁業者や地域住民などが行う藻場・干潟などの保全活動を支援することにより、海洋環境の変化等に進行している藻場・干潟の減少や機能低下を防ぐことを目的とします。						
	漁業者や地域住民などが行う藻場・干潟などの保全活動を支援することにより、海洋環境の変化等に進行している藻場・干潟の減少や機能低下を防ぎます。						

【事業の概要】

すぐに行ける改善提案	本年度を最終年度とし、継続事業である水産多面的機能発揮対策事業へ移行します。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	藻場の保全、岩盤清掃、岩起こしを雄島地区4団体で実施しました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	漁場の保全、海岸の清掃を行っていきます。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	藻場の保全、岩盤清掃、岩起こしを雄島地区5団体で実施します。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	151 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	3,860 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	4,011 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.26 人	1,848 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.26 人	1,848 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	5,859 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	200 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		5,659 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計		5,859 千円	千円	千円	千円	千円	千円			

【事業のコスト】

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	24年度末で一旦清算し、後継事業である水産多面的機能発揮対策事業へ移行します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	水産庁のマニュアルに基づいた実施となるため。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	制度および事業実施状況を見ながら判断していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員で事業にあたります。			
すぐに行ける改善提案	平成25年度から3ヵ年事業として、現在の4地区に1地区を加えて実施していきます。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	単年度毎に事業実施内容を検討しながら継続が必要。			
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

指標名		単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	活動団体数	団体	目標値	4	4	4	達成率
			実績値	4	100	4	100
活動	保全活動回数	回	目標値	70	70	50	達成率
			実績値	79	112.86	64	91.43
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値	達成率	達成率	達成率	達成率
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値	達成率	達成率	達成率	達成率
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値	達成率	達成率	達成率	達成率

【事業の成果】

事務事業名	観光振興対策事業 三国			事業コード	07010400106		
所管部署	地域振興課（三国支所）		電話	82-8904		記入者名	古道 孝佳
事業対象	市民 観光客 観光産業関係者						
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	観光資源の個性と魅力づくり			事業種別	補助金事業（事業）	
実施主体	その他	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	無						
根拠例規	有 坂井市財務規則 坂井市産業経済部観光産業課所管補助金等交付要綱						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	三国地域には、見る、遊ぶ、泊まるの多くの観光資源が点在しています。この貴重な観光資源を活かし、観光客誘致に貢献している団体等を支援することにより観光振興を図ります。						
	<b>事業の目的・事業の概要等</b> 団体事業補助金 三国サンセットビーチ振興会事業補助金（350千円） 浜地浜茶屋振興会事業補助金（126千円） 三国町民宿組合事業補助金（120千円） NPO法人ボランティアガイドきたまえ三国事業補助金（100千円） 一般社団法人三國會所事業補助金（1,800千円）						

すぐにできる改善提案	今後とも事業内容を精査の上、不要なものは減額し、必要なものには追加することを検討します。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	事業主体団体のヒアリング		
中長期的に取り組むべき改善提案	補助要綱の見直し時期にあわせて、そのあり方について検討します。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	事業内容を精査し、適正化を図ります。		

【前年度改善案に対する取組状況】

効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	C
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

【担当者評価】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費						
						平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度			
コスト	事業費	報酬		千円		千円	千円	千円	千円			
		委託費		千円		千円	千円	千円	千円			
		需用費		千円		千円	千円	千円	千円			
		役務費		千円		千円	千円	千円	千円			
		その他		2,496	千円		千円	千円	千円	千円		
		事業費合計		2,496	千円		千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.07	人	498	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00	人		千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.07	人	498	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		総事業費			2,994	千円		千円		千円		千円
事業費	特定財源	国県支出金		千円		千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料		千円		千円	千円	千円	千円			
		分担金・負担金		千円		千円	千円	千円	千円			
		地方債		千円		千円	千円	千円	千円			
		その他		千円		千円	千円	千円	千円			
	一般財源			2,994	千円		千円		千円		千円	
財源合計			2,994	千円		千円		千円		千円		

事業の方向性	このまま継続します。			目標年度	--	年度を目安
判断事由	観光客誘致に貢献している団体への助成として必要なものと考えます。					
実施主体の方向性	現状どおり実施します。			目標年度	--	年度を目安
判断事由	補助金の性質上、やむを得ないと考えます。					
コスト投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	--	年度を目安
判断事由	各団体の事業実施状況を踏まえて、その都度検討します。					
人員投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	--	年度を目安
判断事由	人員削減の中で支所のみでの対応が困難になってきています。					
すぐにできる改善提案	各団体の事業実施状況に応じた対応を図ります。					
目標年度 -- 年度						
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市全体の補助金の見直しの中で適正かどうか検討していきます。					
目標年度 -- 年度						

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	観光客入込数（三国地区のみ）	人	目標値	4000000	達成率	4000000	達成率	4000000	達成率	4000000	達成率
			実績値	2757888	68.95	2651584	66.29	4003273	100.08	4250568	106.26
活動	補助金交付額（合計）	千円	目標値	2496	達成率	2566	達成率	2566	達成率	2566	達成率
			実績値	2496	100	2496	97.27	256	9.98	2566	100
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	三国温泉カニまつり事業 三国		事業コード	07010410111	
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	古道 孝佳
事業対象	市内で観光に携わる人、市民。				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	観光資源の個性と魅力づくり		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	その他	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有 坂井市財務規則 坂井市産業経済部観光産業課所管補助金等交付要綱 三国温泉カニまつり実行委員会事業補助金交付要領				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	市民間の交流、リピーター観光客増を目指します。				
	「三国温泉カニまつり実行委員会」が実施する、越前ガニ等の販売促進及び観光アピールを目的とした三国温泉カニまつりに対し補助を行ないます。 ・助成額：補助対象事業費の1/2以内で2,700,000円を上限額とします。				
事業の目的・事業の概要等					

すぐに行ける改善提案	坂井市の観光の目玉の一つとして重要な位置づけにあると考えます。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	実行委員会に参加し、PR活動や開催当日も協力しています。
中長期的に取り組むべき改善提案	まつりイベント事業に位置付けられるこのイベントは、坂井市イベントの中で多くの集客が見込め、また、県内外、市民の方にとっても憩いの場となるものです。これらイベントの更なる充実を図るため、実施内容の精査を図ります。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	事業全体のあり方についての検討

効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	2,600 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	2,600 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.19 人	1,351 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.19 人	1,351 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	3,951 千円		千円		千円		千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		3,951 千円		千円		千円		千円		
財源合計	3,951 千円		千円		千円		千円			

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	観光産業の推進を図る事業であると考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	三国温泉カニまつり実行委員会が主体です。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事業実施状況に応じた補助をその都度検討していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	三国温泉カニまつり実行委員会が主体です。			
すぐに行ける改善提案	観光PRを目的とした事業ですので、今後も継続していきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市の目玉である越前ガニのPR手段の一つとして、重要な位置づけにあるイベントであり、観光と水産が連携して取り組んでいくべき事業と考えます。			
目標年度 -- 年度				

成果	指標名	単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
活動	観光客入込数（三国地区のみ）	人	目標値	4000000	達成率	4000000	達成率	4000000	達成率	4000000	達成率
			実績値	2757888	68.95	2651584	66.29	4003273	100.08	4250568	6.75
活動	来場者数	人	目標値	30000	達成率	30000	達成率	30000	達成率	30000	達成率
			実績値	16000	53.33	18000	60	35000	116.67	15000	50
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

事務事業名	自然環境保全用地管理事業 三国			事業コード	07010500101
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	古道 孝佳
事業対象	市民および観光客				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	観光資源の個性と魅力づくり		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	自然環境保全用地整備業務委託
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	越前加賀海岸国定公園に指定されている三国町内海岸線の優れた自然環境を保全します。				
	市が対象となる用地を借上げるにより乱開発を抑止するとともに、定期的な除草や清掃など適正な維持管理を行なうことにより景観保全を図ります。 【事業内容】 ①環境保全用地の借上げ ②業者委託による除草・清掃管理 ③市民との協働による植栽活動の展開				
事業の目的・事業の概要等					

すぐのできる改善提案	越前加賀海岸国定公園に指定されている区域の優れた自然景観を保全するために、除草・清掃管理を行います。		
目標年度	平成24	年度	
取組状況	自然環境用地の草刈、投棄ゴミの回収を行いました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	越前加賀海岸国定公園に指定されている区域内の優れた自然景観を保全するために、除草・清掃管理に努め、優れた自然景観を創造する努力をしていきます。		
目標年度	平成28	年度	
取組状況	他の事業と連携して、越前加賀海岸国定公園の美しい自然環境が損なわれないよう事業展開を図っていきます。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光施設費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	5,149	千円	5,485	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	6,225	千円	6,225	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	11,374	千円	11,710	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.24	人	1,706	千円	0.62	人	4,213	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	千円	千円
		人件費合計	0.24	人	1,706	千円	0.62	人	4,213	千円
	事業費	総事業費	13,080	千円	15,923	千円	千円	千円	千円	千円
		特定財源	国県支出金	千円	千円	1,810	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		13,080	千円	14,113	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計	13,080	千円	15,923	千円	千円	千円	千円	千円		

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	越前加賀国定公園の海岸線において美しい自然環境を保全するために必要であると考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	他の事業と連携し、市が主体であるのが良いと考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	美しい自然環境を保全するために必要と考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員で事業にあたります。			
すぐのできる改善提案	越前加賀海岸国定公園に指定されている区域の優れた自然景観を保全するために、除草・清掃管理を行います。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	越前加賀海岸国定公園に指定されている区域の優れた自然景観を保全するために、除草・清掃管理に努め、優れた自然景観を創造する努力をしていきます。			
目標年度	--	年度		

	指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	維持管理している保全用地の面積	㎡	目標値	133625	達成率	133625	達成率
			実績値	133625	100	133625	100
成果			目標値		達成率		達成率
			実績値				
活動	保全用地の維持管理回数	回	目標値	2	達成率	2	達成率
			実績値	2	100	2	100
活動			目標値		達成率		達成率
			実績値				
			目標値		達成率		達成率
			実績値				
			目標値		達成率		達成率
			実績値				

事務事業名	海浜自然公園維持管理事業 三国			事業コード	07010510131
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	古道 孝佳
事業対象	市民及び観光客				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	観光のネットワーク化		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	清掃管理委託
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	県下有数の観光地であることを念頭に、常に市民及び観光客が快適で安全に利用できる観光施設を維持管理します。				
	海浜自然公園維持管理事業				

【事業の概要】

すぐに行える改善提案	施設補修のための予算措置が急務と考えます。	
目標年度	平成25	年度
取組状況	県自然環境課等と連携し、国庫補助金等の対象を検討します。	
中長期的に取り組むべき改善提案	県内に入り込む観光客の約4割が本市を訪れています。経済効果にも反映するリピーターの増加を鑑みた場合、良い印象を持ってもらわなければなりません。そのため、既存観光施設の維持・管理は不可欠なものであります。今後とも、最小の経費で、最大の効果を発揮できるよう考慮しながら、快適な環境整備に努めていく必要があると思われまます。	
目標年度	平成28	年度
取組状況	施設の巡回・点検等を行い、なるべく早い対応を行うよう努力します。	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
有効性	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光施設費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	9,052	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	2,350	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	257	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	1,103	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	12,762	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.43	人	3,057	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.43	人	3,057	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	15,819		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	2,919	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他			1	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		12,899	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	15,819		千円	千円	千円	千円	千円	千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	常に市民及び観光客が快適で安全に利用できる観光施設を維持管理するよう努力します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	国定公園、自然公園等の厳しい規制があるので、難しい一面もあると考えます。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	施設の老朽化が進んでおり、必要な修繕工事を2カ年にわたり実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員で対応するよう努力します。			
すぐに行える改善提案	市民および観光客が快適で安全に利用できる維持管理が必要。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	県内に入り込む観光客の4割が本市を訪れています。経済効果なども考慮し、リピーターの増加などを考えた場合、良い印象をもってもらおうよう努力が必要となります。既存施設の維持管理、清掃などは不可欠であり、最小の経費で最大の効果が発揮できるよう努めていく必要があります。			
目標年度	--	年度		

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	維持管理している観光施設の入込み数	人	目標値	1500000	達成率	1500000	達成率	1500000	達成率	1500000	達成率
				実績値	1373585	91.57	1376085	91.74	1385885	91.74	1451230
活動	維持管理日数（三国海水浴場関連施設）	日	目標値	142	達成率	142	達成率	142	達成率	142	達成率
				実績値	142	100	142	100	142	100	142
活動	維持管理日数（東尋坊関連施設）	日	目標値	241	達成率	241	達成率	241	達成率	187	達成率
				実績値	241	100	241	100	241	100	187
活動	維持管理日数（浜地海水浴場関連施設）	日	目標値	130	達成率	130	達成率	130	達成率	130	達成率
				実績値	130	100	130	100	130	100	130
活動	清掃業務管理委託件数（観光地美化）	件	目標値	9	達成率	9	達成率	9	達成率	9	達成率
				実績値	9	100	9	100	9	100	9
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値							

【事業の成果】



事務事業名	三国サンセットビーチ駐車場管理事業 三国			事業コード	07010510136
所管部署	地域振興課（三国支所）	電話	82-8904	記入者名	古道 孝佳
事業対象	市民及び観光客				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	観光のネットワーク化		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	管理委託
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

県下有数の観光地であることを念頭に、常に市民及び観光客が快適で安全に利用できる観光施設を維持管理します。

三国サンセットビーチ駐車場管理事業 三国

すぐに行ける改善提案	施設維持のための予算措置が急務と考えます。
目標年度 平成25 年度	
取組状況	県予算によりリニューアル改修を行っているが、市も必要に応じて維持管理の予算措置が必要になっている。こうした中、施設の巡回・点検を行い、利用客の苦情が出ないよう早期の対応を行っている。
中長期的に取り組むべき改善提案	県内に入り込む観光客の約4割が本市を訪れています。経済効果にも反映するリピーターの増加を鑑みた場合、良い印象を持ってもらわなければなりません。そのため、既存観光施設の維持・管理は不可欠なものであります。今後とも、最小の経費で、最大の効果を発揮できるよう考慮しながら、快適な環境整備に努めていく必要があると思われまます。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	駐車場及び周辺施設の美化を図り、利用客へのイメージダウンを防ぐとともに、観光客の誘致を図っていきます。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光施設費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	2,427	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	2,427	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.07 人	498 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.07 人	498 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		2,925 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	2,427 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		498 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計			2,925 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	海水浴場の利用客のため、駐車場の美化を図り、観光客へのイメージダウンを防ぐとともに、観光客の誘致を図るためにも重要な事業と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	国県や地元との協力を得ながら市が主体となっていくのが望ましいと考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	県のリニューアル改修にあわせて、必要な維持管理費を投入すべきであると考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	サンセットビーチのイメージアップのため現状の人員で努力します。			
すぐに行ける改善提案	25年度にリニューアルオープンすることにより、より観光客等が快適で安全に利用できるよう努めます。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	市民、団体等と協力しながら、維持管理等を推進する必要があると考えます。			
目標年度 -- 年度				

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	
成果	維持管理している観光施設の入込み数	目標値	1500000	達成率 1500000	達成率 1500000	達成率 1500000	
		実績値	1373585	91.57	1376085	91.74	1385885
活動	維持管理日数（三国海水浴場関連施設）	目標値	142	達成率 142	達成率 142	達成率 142	
		実績値	142	100	142	100	142
活動	維持管理日数（東尋坊関連施設）	目標値	241	達成率 241	達成率 241	達成率 241	
		実績値	241	100	241	100	241
活動	維持管理日数（浜地海水浴場関連施設）	目標値	130	達成率 130	達成率 130	達成率 130	
		実績値	130	100	130	100	130
活動	清掃業務管理委託件数（観光地美化）	目標値	9	達成率 9	達成率 9	達成率 9	
		実績値	9	100	9	100	9
		目標値		達成率	達成率	達成率	
		実績値					